

Rotary 上尾ロータリークラブ

2014-15年度R.I.テーマ

ロータリーに輝きを



齋藤 博重会長

第2556回 例会 会長あいさつ

2014.9.4

週報 No.2009

発行 2014年 9月11日

会長 齋藤 博重
幹事 久保田 勲
副会長 齋藤 哲雄
副幹事 藤村 作
編集責任者・
クラブ広報委員長 長沼 大策

ビジターゲスト

青少年交換学友
Jr.カウンセラー長
富田万央さん

Jr.カウンセラー
久井愛未さん

9月18日 卓話『自分史』

齋藤修弘会員

9月25日 卓話『わたしと上尾』

深澤圭司会員

(時間変更)

皆さん、こんにちは。今日は、青少年交換留學生の経験者・富田さん、久井さんにおいて頂きました。後ほど、卓和を宜しくお願い致します。

9月は、青少年のための月間です。今日は、皆さんがご存知の日本を代表する世界的スーパースター・イチロー選手と本田選手の話をしたと思います。2人は、同じ12歳の時に「夢」と題する作文を書いています。ご披露したいと思います。

「夢」鈴木一郎

僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て、活躍しなければなりません。活躍出来るようになるには、練習が必要です。僕は、その練習には自信があります。僕は、3歳の時から練習を始めています。3歳から7歳までは、半年くらいやっていたんですが、3年生の時から今までは、365日中、360日は、激しい練習をやっています。

だから、一週間中で友達と遊べる時間は、5時間から6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。そして、中学、高校でも活躍して高校を卒業してからプロに入団するつもりです。そして、その球団は、中日ドラゴンズか西武ライオンズが夢です。

ドラフト入団で契約金は、1億円以上が目標です。

僕の自信があるのは、投手と打撃です。昨年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そしてほとんどの投手を見てきました。自分がNo.1投手と確信できるほどのです。打撃では、見大会4試合のうちホームラン3本打ちました。そして、全体を通しての打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは1年間負け知らずで、野球が出来ました。だから、この調子でこれからも頑張ります。そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に、招待券を配って応援をしてもらうのも夢の一つです。とにかく、一番大きな夢は、プロ野球選手になることです。

Rotary AGEO ROTARY CLUB

「将来の夢」本田圭祐

僕は大人になったら、世界一のサッカー選手になりたいというよりなる。世界一になるには、世界一練習しないとダメだ。だから、いま僕は、頑張っている。今は、ヘタだけど頑張れば必ず世界一になる。そして、世界一になったら大金持ちになって親孝行する。Wカップで有名になって、僕は海外から呼ばれてヨーロッパのセリエAに入団します。そして、レギュラーになって10番で活躍します。1年間の給料は、40億円はほしいです。プーマと契約してスパイクやジャンパーを作り、世界中の人がこの僕が作ったスパイクやジャンパーを買って行ってくれることを夢見ている。

一方、世界中のみんなが注目し、世界中で一番さわく4年に一度のWカップに出場します。セリエAで活躍している僕は、日本に帰るミーティングをし、10番をもらってチームの看板です。ブラジルと決勝戦をして2対1でブラジルを破りたいです。この得点も兄と力を合わせ、世界の強豪をうまくかわし、いいパスを出し合って得点を入れることが僕の夢です。

というように両者とも12歳の少年が書いた作文とは思えない内容で、P D C A (plan-do-check-act)が見事に凝縮されています。両者共に将来の自分の姿を明確にイメージして、そのゴールから逆算して書かれた具体的な作文です。プロ野球選手になりたい、サッカー選手になりたいと書いた男子は結構多いと思いますが、ここまで自らの現状をしっかり把握、分析して将来を見据えた文章を書いた人は、そう多くないと思います。自分自身の作文を思い出し、当時憧れていた中日ドラゴンズの鈴木孝政投手のような投手になりたいで終わっていたと記憶しています。二人とも具体性はもちろんですが、人にやらされるのではなく、自らやるという感覚がハンパではないということです。

これから将来を担う青少年達には大きな夢を持ち、具体的に逆算した計画を立てて欲しいと思います。また、イチローの父、鈴木直之氏のコメントでは、子供が夢を見つける最初のきっかけは、親が与えるものだと思います。もし、一郎がサッカーをやりたいと言っていたら、私も一緒にボールを蹴っていたでしょう。

人は、一人で生きているわけではないんだと、いつも言い聞かせていました。野球がうまくても、周囲

に感謝できない人間ではしょうがない。私たちが通ったバッティングセンターの社長が、一郎の為に、特別早いボールが出るマシンを用意してくれることもありました。そういう方々のおかげで、今の一郎があるのだと、一郎自身も分かっていると思います。と語っています。このように青少年の育成には、我々大人が様々な場面で子供たちに手を差し伸べることが大切です。ロータリーの活動で言いますと、青少年交換事業や米山奨学生の受け入れがあたりと思えます。皆さんのより一層のご協力をお願いしまして会長挨拶と致します。

幹事報告

久保田 勲幹事

◆会員増強維持委員会から毎月各クラブの会員数の速報をいただいております。今月もいただいておりますが上尾RCはまだ入会はありませんので、増強に向けて頑張っていきたいと思っております。

◆RLI運営委員会より、RLIパートIIの案内が来ています。こちらは私と藤村副幹事が出席予定となっております。

◆職業奉仕部門セミナーが10月17日開催ということで案内が来ています。こちらは須田会員と部門委員長が出席予定です。

◆青少年交換スポンサー補助金の振込手続きを完了したと、地区青少年交換委員会・大塚崇行委員長から報告がきています。

◆米山記念奨学部門からカウンセラーの研修会について、大塚信郎バスターンにご案内させていただきます。

◆今月のガバナー月信には、地区青少年交換委員会・大塚崇行委員長、地区社会奉仕部門・尾花部門委員長が掲載されていますので一読のほどお願いいたします。

◆先月、会員増強及び拡大月間ということで急遽会長がどンドン皆さんにご協力願えればということで本日の資料の中に「新会員紹介シート」を配らせていただいております。必ず3名を記入いただいで会員増強につなげられればと思います。よろしくお願ひいたします。



Rotary AGEO ROTARY CLUB

米山功労者表彰



島村 健会員

例会主題

青少年交換について

地区青少年交換委員会 大塚崇行委員長

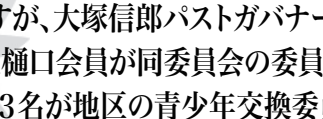
先ほど齋藤会長あいさつでお話しがあったように今月は「青少年のための月間」になります。ということで留学経験をしてきたお二人に来ていただいて卓話をしていただきます。今年度、上尾RCとしては、私が青少年交換委員会の委員長として、また大塚信郎バスターンの委員に就任して、また樋口会員が同委員会の委員に就任して、計3名が地区の青少年交換委員会に深くかかわっていることとなります。そして島村バスターン会長の娘さん・江里香さんがいまアメリカ・フロリダ州に派遣されており、逆にフロリダからパーカー君が来日しています。委員長として深くかかわりながら、また当事者としてパーカー君を1年間みていきたいと思っております。皆様にはホストファミリーの件などご協力をいただき交流を深めていただければと思います。それではお二人にお話しをお願いします。

青少年交換学友 Jr.カウンセラー 久井愛未さん

皆様、お久しぶりです。

2011-12年度、上尾RCさんのスポンサーでアメリカ合衆国・インディアナ州に派遣されました久井愛未です。今までも何度かお話しさせていただいたことがあるのですが簡単に留学経験を話したいと思います。

まず私の近況ですが、この留学が大きな起点となりこの春、上智大学の教育学科に合格することができました。



皆さまのご協力のおかげだと思います。ありがとうございます。教育専攻ということなので今日の留学の話は教育的観点から踏まえてお話ししたいと思います。まずインディアナ州はアメリカ中西部のシカゴの少し南側にある州で、マイケルジャクソンが生まれた州でもあります。日本と同じように四季があります。私が通っていた高校はちょっと日本と違っての紹介が、留學生の私は自由に選択科目を選ぶことができ、ジェスチャーなどを動かして友達とつながりあえる科目を選択しました。四年制の高校といっても授業によっては学年は関係なく勉強することができ、日本のように先輩後輩の厳しい関係はなくて、みんなで同じ目的に対して学んでいこうという姿勢が強いんです。ここで選択した体育の授業では驚いたことがいくつかありました。授業は体育館で行うのではなく、スクールバスで郊外に移動し、ボウリング場やゴルフ場に行きました。体育館で行う授業ではアーチェリーやフロアホッケーといったアメリカでは人気のスポーツでした。いちばん驚いたのは種目に限らず、授業風景でアメリカだなあと思ったのは、例えばグラウンド3周と先生が言っても内容はウォーキングでした。日本では体力をつけなければいけないとか、集団規律を重んじます、アメリカはそんなことは気にしないようでした。

日本の部活動は学生生活ずっと同じスポーツに打ち込みますが、アメリカではシーズンごとに短期間で変えることができます。私は授業の一環にあったショークワイア(コーラスとダンスを融合させたパフォーマンス)が授業の延長上に放課後にもあったので1年間取り組みました。現在日本だと小学校などでは部活動の必修化が進められてきていますが、それは表現力やコミュニケーション能力を高める狙いがあるのでしょうから、例えばショークワイアを授業に取り入れたら教育がかわるかもと思って、それが上智大学の教育学科に入ろうと思ったきっかけにもなっています。

これまで留学経験を紹介しましたが、いま大学で学んでいることとあわせて考えて思っていることは、例えば日本の教育は受験のための教育で、日本の学生は個性が失われつつあるのではないかなと感じています。逆にアメリカは一人ひとりが自分に自信をもってみんなと違うことを喜びに感じ、個性を強化した教育がなされていると感じます。

現在、教育の国際化が叫ばれていて、いま現在の私には解決策はわかりませんが、大学でつきつめていきたいと思います。

いまは大学に入学したばかりでロータリーの活動に参加できてなく申し訳ないのですが、先週、パーカー君が日本に来たときにお迎えに成田に行きわらない点を通訳したり、去年インドの方が職業研修で来日した際に浅草やスカイツリーを案内するというボランティアをさせていただいたので、自分が留学したという経験は大きいので、培ったものを最大限に駆使してできることをこれからしたいと思っております。ありがとうございました。

青少年交換学友 Jr.カウンセラー長 富田万央さん

はじめまして。2012-13年度、川口北RCさんスポンサーのもとフィンランドに派遣させていただきました富田万央と申します。

まず私はフィンランドの首都ヘルシンキから少し北に行ったラフティという街と、ホッロラという街に留学させていただきました。フィンランドといったら寒くてサンタクロースがいるイメージだと思いますが、まさにその通りで冬はマイナス40度になる日もあります。そのほか森と湖がたくさんあり、セカンドホストファミリーの家が森の中にあつたのですが、夜道に迷って電話した際に、近くに湖があると言ったら、このあたりは湖が3つあるからどの湖かわからないよと言われるくらいでした。自然に囲まれた空気感がいいない国ですが、外国人間にとっては大変な国でした。

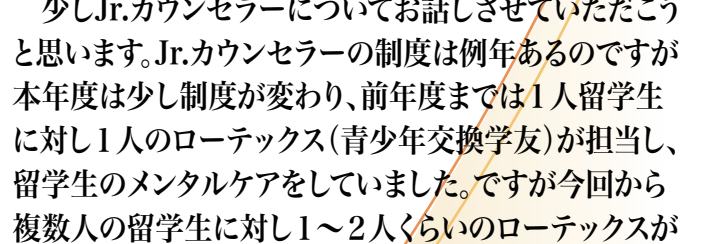
私は3つのホストファミリーを回ったのですが、1つ目はスウェーデン語を話すホストファミリーでびっくりしました。そちらの家族もホストファミリーをするのが初めてで、私もホームステイが初めてだったので、お互いにわかりあえない思いをしましたが、それはそれでどのようにコミュニケーションをとるかわい経験になった3ヶ月間でした。

セカンドホストファミリーは、ホストファミリーが私のカウンセラーを務めていたのですが馴染みや、4人の子供も同年代でフランスが良く、悩んだりときは相談したり、一緒に遊びながらフィンランド語を習得しました。クリスマスやお正月などフィンランド人が大切にしている行事もこの家族と一緒に過ごしたので、いちばん思い出に残っています。

第3ホストファミリーは大人しかいないで、セカンドホストファミリーとはギャップがあり戸惑ったのですが、大人から学べる事が多く、勉強になりました。フィンラン

ドで5番目に頭がいいと言われている学校に通っていたのですが、政治家や医者の子供が多く、価値観が異なり、カルチャーショックを受けたのですがいろいろな話が聞けました。日本語を話せる友達も多く、留学生活を楽しめました。ヨーロッパに留学したので、9カ国のヨーロッパにも連れていって来て充実した1年間を過ごしました。たくさんの日本での帰国後半年のロータリーに感謝の気持ちがあるのと、フィンランドは受験のためお休みさせていただきましたが、今年から青少年交換学友として活動をはじめ、本年度はJr.カウンセラーという役職をいただきました。

少しJr.カウンセラーについてお話しさせていただこうと思います。Jr.カウンセラーの制度は例年あるのですが本年度は少し制度が変わり、前年度までは1人留學生に対し1人のローテックス(青少年交換学友)が担当し、留學生のメンタルケアをしていました。ですが今回から複数人の留學生に対し1~2人くらいのローテックスが担当することに制度が変わりました。最初の3ヶ月ほどは留學生に対してお話しが不安定な時期になりますので問題がおきた場合に、ホストロータリークラブやホストファミリーの仲介役にJr.カウンセラーが行います。この際Jr.カウンセラーは中立な立場で問題解決に取り組み、ロータリーアンとホストファミリーの窓口になるようにしています。最近はどうのクラブでもホストファミリーが減ってしまっているという話を聞くので、今回は久井愛未さんがパーカー君のJr.カウンセラーを担当してくださっていますが、私か久井さんのどちらかかいつでも連絡を受けられる状態にいますので、安心してホストファミリーになっていただけたらと思います。以上です。ありがとうございました。



出席率	出席数	25
出席率	出席率	(%) 71.43
欠席	欠席数	10
前々回確定	欠席数	3
修正率(%)	修正率	(M・U) 9

